

防滑性

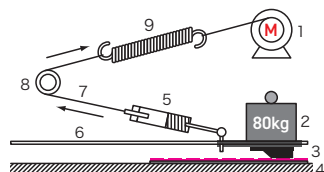
■ バランス良い適度な防滑性が転倒事故を防ぎます。

床材の安全性を考える上で防滑性は一つの重要な要素となります。

滑り過ぎる床はもちろんのこと、極端に滑りにくい床もつまずきや転倒の危険性があり、空間に応じて適度な防滑性が要求されます。

■ 試験方法 … JIS A 1454 高分子系張り床材試験方法「滑り性試験」

すべり試験機(O-Y・PSM)簡略図



1. 定速モーター
2. 重錘(鉛直荷重用)
3. 滑り片台座
4. 試験体(測定対象床)
5. 荷重変換器
6. ガイドレール
7. ワイヤー
8. 滑車
9. 引っ張り荷重速度調整器

東京工業大学の小野研究所が開発した滑り試験機によるOY-PULL法にて試験を行っています。実際の歩行に最も即している試験方法と言われ、滑り片に実際に使用する履物の底を貼り付け、80kg fの荷重をのせ、18°の角度で引っ張った時に得られる最大引張り荷重を測定し、その値を載荷重量(80kg)で除した値(C.S.R値)をすべり抵抗の評価指数としました。

■ 床材のすべり最適値および許容範囲(下足床)

(C.S.R値)

想定履物	すべり測定結果	商品名	すべり ← C.S.R → すべらない	
			0.4	0.6 0.8 1.0
(合成ゴム底) 紳士靴	○ 最適値	動作	歩行	0.6 ~ 0.8
	▶ 許容範囲		駆け出し	0.4 ~ 0.8
			急停止	0.4 ~ 0.6
			方向転換	0.4 ~ 0.6
		ナージングフロア	0.51 ~ 0.77	
	ナージングフロアV	0.52 ~ 0.84		
	SKフロア	0.47 ~ 0.80		
	メディウオーク	0.52 ~ 0.73		
	ストロング	0.51 ~ 0.79		
	オデオンPUR	0.49 ~ 0.81		
	グラニット	0.48 ~ 0.84		
	メガリット	0.47 ~ 0.87		
	ニューセーフティ プレーン	0.50 ~ 0.81		
	ニューセーフティ オーク、コンクリート	0.58 ~ 0.93		
	オフロア	0.49 ~ 0.72		
	プレーンエンボス ウッドパターン	0.54 ~ 0.77		
プレーンエンボス プレーン	0.53 ~ 0.66			
フロテックスシート	0.67 ~ 0.85			
エスリュウム・リアル	0.55 ~ 0.94			
エスリュウム ミスト、ルーミー、カルド	0.57 ~ 0.87			
エスリュウム ウィーブ	0.54 ~ 0.82			
エスリュウム マーブル	0.57 ~ 0.80			
消臭しつリュウム エルム	0.55 ~ 0.85			
消臭しつリュウム マルストーン・グランコンク、ミスト柄	0.54 ~ 0.81			

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。品番により数値が異なる場合があります。

■ 浴室床のすべり最適値および許容範囲(C.S.R-B)

素足での滑り性を想定した試験で、C.S.R値と同じ試験をすべり片を変更し「水+ダスト」と「0.3%石鹸水」の状態にて測定します。

想定履物	すべり測定結果	商品名	すべり ← C.S.R-B → すべらない	
			0.8	0.9 1.0 1.1
素足 (ゴム製すべり片)	◆ 0.3%石鹸水	オフフロア	1.07	1.07
	◆ 水+ダスト	プレーンエンボス プレーン	1.06	1.09
		※参考 一般ビニル床シート	0.96	1.01

※上記の値は測定値であり、保証値ではありません。

■ 数値の判断基準は？

優れた防滑性を持つ床材の条件とは、乾燥し清掃された状態と、水や土砂が付着した状態で防滑性能の差が小さいこと、つまり、どのような状況下でも滑りやすさ、つまずきやすさの変化が小さいことです。